



阪神淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震では、電気器具の転倒による火災や停電後の復旧通電時に火災が発生する電気火災が多発しました。地震による電気火災を防ぐために効果的なのが感震ブレーカーです。いざという時の備えに対策しましょう。

○感震ブレーカーとは？

地震の時に設定以上の揺れを感知した場合に分電盤のブレーカーを自動的に落として電気を遮断する機器です。停電が復旧し、電気器具が安全に使える状態か確認してからご自身でブレーカーを戻すことで、通電火災を防ぐことができます。

○感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。

○設置について

コンセントタイプや簡易タイプはご自身で設置ができます。お近くのホームセンターや家電量販店等にお問い合わせください。

分電盤タイプの設置には専門的な工事が必要です。工事に関するご相談はお近くの電気工事店にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

新発田地域広域事務組合消防本部予防課

電話 0254-22-8096

メール syobouka@shibata-kouiki.jp